

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1490500103
法人名	株式会社 白寿会
事業所名	グループホーム ふぁいと天神橋
訪問調査日	平成22年9月15日
評価確定日	平成22年10月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490500103	事業の開始年月日	平成19年6月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社 白寿会			
事業所名	グループホーム ふあいと天神橋			
所在地	(232-0033)			
	横浜市南区中村町5丁目317-3			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年8月10日	評価結果 市町村受理日	平成22年12月11日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日中は玄関の施錠はせず、誰でも自由に出入りできるようになっています
地域とのかかわりを持ちつつ、個々のご入居様が安心して安定した生活を確保できるように支援します
笑い声・会話の絶えることの無い心安らぐホームです
心の壁のないオープンなホームを心がけています
開設して3年となり、より充実した事業展開を行っていき、気軽に立ち寄っていただけるように地域連携を図っていきます

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成22年9月15日	評価機関 評価決定日	平成22年10月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
①このホームは株式会社白寿会の経営である。母体は鎌倉の橋本クリニックであり、医療に関してのノウハウがある。白寿会、平平會のグループは有料老人ホーム「はなみずき」と6つのグループホームなど福祉に関する事業を展開している。医療に関するノウハウを活用し、橋本クリニックから理事長が訪問診療を担当し、24時間対応体制を整備し、医療連携体制を実施し、ドクターは月4回、看護師は月4回訪問がある。利用者のターミナルケアについてはご家族が希望されれば対応出来る体制を整えている。法人内相互の連携は強く、中核となる「はなみずき」があるのでそこをベースとした法人内研修会、勉強会を持ち、レベルアップに努めている。開設時に、職員の意見を吸い上げたこのホーム独自の理念を作成し、ケアを展開している。
②新管理者は地域との密着を1つの方針として掲げ、中の雰囲気明るく保つ事と、閉鎖的にならない事を柱に展開を図っている。不足していると感じられる外部との接触について、地域包括支援センターや民生委員などとの連携を深め、9月30日のホームの敬老会は運営推進会議も同時開催を企画し、地域包括支援センターを通じて歌と演奏のボランティアに来てもらい、ご家族も含めて楽しんで頂くことにしている。今までは町内会との連携の中で、運営推進会議は町内会館を利用させて頂いていたが、今回はホームを見て頂く意味も含めてホーム内で交流を深めたいと考えている。
③介護計画に関してはICFの考え方をベースとし、本人の出来ること、潜在能力を生かすことと、環境整備を考えるようにしている。集団生活の中で、できる限り希望に沿って利用者本位の生活の確保を心掛け、各利用者とコミュニケーションを取りながら、それぞれの要望を聴き取り、可能な限り受け入れるようにしている。日常生活と介護計画との連動、個別チェック表等を活用した毎月のモニタリング、定期的カンファレンスにより本人・ご家族と一緒に介護計画を作成するようにしている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームふあいと天神橋
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を目のつくところへ掲示し、申し送り・フロア会議時などに理念の大切さを訴えかけ、すべてのスタッフが同一目線となるように絶えず、意識しながら実践に向けて取り組んでいる	理念は開設時、スタッフと一緒にホームとしての理念を作り上げ展開している。理念は目のつくところへ掲示し、申し送り・フロア会議時などに理念の大切さを訴え、すべてのスタッフが同一目線となるように、絶えず意識しながら実践に向けて取り組んでいる。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	気軽に立ち寄っていただけるように働きかけを行っていきたい。9月末にはボランティアさんによる敬老会に推進会議を重ね合わせる予定となっているし、入居者との散歩・ゴミ捨て時などに積極的に挨拶するように心がけている。また地域の方から挨拶をいただいたり、話かけられたりするようになってきていて、徐々に顔なじみの関係になってきている。	新管理者は地域との密着を1つの方針として掲げ、気軽に立ち寄って頂けるホームを目指している。9月末、敬老会と運営推進会議の合同開催を企画し、ボランティアさんにも来て頂く予定である。利用者との散歩・ゴミ捨て時などに、地域の方に積極的に挨拶するように心がけ、また地域の方から挨拶を頂いたり、話かけられたりするようになり、徐々に顔なじみの関係は深まって来ている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームであることを活かし、積極的にかかわりを持ち、地域貢献している 今後はより理解をしていただけるよう、ホーム内での催し・講習会などを行っていききたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	常に前向きな姿勢を忘れることなく、施設内の事故などもオープンにしてサービス向上に取り組んでいる 運営推進会議時の意見・アドバイスを参考にして改善に努めている	運営推進会議は現状、年4回程度の開催となっている。施設内の事故などもオープンにしながら率直なご意見やアドバイスを頂き、改善に努め、サービス向上に取り組んでいる。地域の代表者の意見を積極的に取り入れ、地域との連携を深めるよう努めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村主催の研修などにはできる限り出席している また、福祉局や区の高齢者担当にもTEL連絡などにより現状を伝え、相談にのってもらったりアドバイスをいただいたりしている	横浜市福祉局、南区主催の研修などにはできる限り出席している。また、福祉局や区の高齢者担当にも電話連絡などにより現状を伝え、相談にのってもらったりアドバイスを頂いている。生活保護の方もいるので、その担当との連携もある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については研修に参加をし、職員間で勉強会などを行い、周知徹底している 具体的行為については、各職員がどの程度理解できているかをフロア会議などで把握した上で個別指導を行っている	身体拘束については研修に参加をし、職員間で勉強会などを行い、周知徹底している。具体的行為については、各職員がどの程度理解できているかをフロア会議などで把握した上で個別指導を行っている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の実態を知ることにより予防していき、小さな虐待をも見逃すことのない様に、利用者・職員に声かけを行っている またそれにつながる行為などが発覚したときは速やかに対策を考じ、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	随時研修などに参加し、ホーム内に資料保管している ホーム内に成年後見人制度利用の利用者もいらっしゃるのので、職員も少しずつ理解してきている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明のもと、理解を得て納得いただけるように努めている また、実際に馴染めるか否かに関しても、仮入所やデイサービスの利用をいただき、本入所とし、それからの契約としている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者に対しては、常日頃より入居者の意見を尊重し受け入れるように心がけている 家族等に対しては、重要事項説明書などにより説明を行い、来訪時などに意見・希望を収集し、可能な限り取り入れるようにしている また、不満・苦情に対しては迅速な対応を心がけている	利用者の思いについては、常日頃より入居者の意見を傾聴し受け入れるように心がけている。ご家族等に対しては、入居時等に重要事項説明書などで充分説明をし、来訪時などに意見・希望を収集し、可能な限り取り入れるようにしている。また、不満・苦情に対しては迅速な対応を心がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を聴き、調整できる事柄などについては調整していく チームワークで運営していくことを解き、可能な限り職員の意見を取り入れている	チームワークで運営していくことを十分に話し、了解の上、可能な限り職員の意見を取り入れるようにし、調整できる事柄などについては調整するようにしている。地域との密着の方針も全員の理解を得ており、外に向けてもチームワークで展開を図っている。新しい職員が入って来た場合には、声をかけ、話しがしやすい雰囲気を作るよう皆で心がけている。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	それぞれの勤務状態に応じて定期的に査定を行い、働きやすい職場環境に努めている			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修をできる限り取り入れている 必要に応じての介護技術力アップのための取組みも個々に行っている 法人研修に関しては、基本的には各職員の自主性を重んじているが、多数の参加となっている また、資格取得支援も行い、各職員のスキルアップを図っている			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	いろいろな研修にできる限り参加し、ネットワーク作りをしてサービスの質の向上に努めている 今後は、特に近隣の他ホームとの意見交換や交流などを行い、よい所を取り入れていく			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所1,2か月は特に気配り目配りをして、チームワークとして職員同士連絡を密にとり、ご本人の理解に努める また、ご本人との面接などを通じて、安心して入所していただき、安定した生活の確保に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に面接して今後について充分話し合いをし、不安を取り除き、早期に安心していただけるように努めている 時としてはデイサービスやショートステイの利用を行ったりして不安が残らないように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時々に応じてアドバイスをしながら、介護保険内外の必要な他サービスについての説明なども行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意思・意欲を尊重し、それぞれの利用者のできることを見極めて一緒に生活し、共に学んでいくようにしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族などが常に訪問しやすい環境作りを心がけ、相談したりされたりの関係となり、共にご本人のことを考えていくようにしている また必要に応じて特養や有料ホームへの移行支援も行っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出などの機会を通じて支援に努めている。ご家族の面会はもちろんのこと、それ以外にも親戚の方・旧友などの面会もある。また、娘様とともにお中元・お歳暮の品定めなどに外出されたり、息子様宅に向いたりして思い思いのひと時を過ごしている。	面会・外出など機会あるごとに支援に努めている。ご家族の面会は勿論のこと、それ以外にも親戚の方・旧友などの面会もある。また、娘さんのお中元・お歳暮の買い物、息子さん宅への訪問など、思い思いの時間を持つよう支援している。ご近所との関係を深め、ここが自分の家となるように努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に職員間の連携により、配慮している いさかいになりそうな時をいち早く察知して、それぞれの利用者が不快にならないように気をつけている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的にフォローしていき、いつでも相談にのれるよう心がけている ちかくの病院に入院している前ご利用者への面会に出向いたり、逆に退所された方がご家族とともに訪問して下さったりしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	集団生活のため、すべてが希望通りとはいかないが、できる限り希望に沿って利用者本位の生活確保をしている 各利用者とのコミュニケーションを取りながら、それぞれの要望を聴き取り、可能な限り受け入れている	集団生活の中で、できる限り希望に沿って利用者本位の生活の確保を心掛けている。各利用者とコミュニケーションを取りながら、それぞれの要望を聴き取り、可能な限り受け入れるようにしている。日常生活と介護計画との連動を図り、チェック項目を決め、継続的に見守ることで、出来ることや意向の把握などにも役立っている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に確認を行い、入居後の生活に反映するようにしている また、現時点においても毎日の声かけの中で把握するように努め、有効なことは生活の中に取り入れている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメント・個人記録を通し、職員間で共有して把握できるようにしている 毎日の声かけの中で、その日の体調など様子をみて日々変動した対応を行い、メリハリをつけるように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを行い、ご本人・ご家族と一緒に介護計画を作成している また、個別チェック表を使用して毎月モニタリングを行っている	日常生活と介護計画との連動、個別チェック表等を活用した毎月のモニタリング、定期的カンファレンスにより本人・ご家族と一緒に介護計画を作成している。計画策定については、管理者のケアマネジャーとしての経験を活用し、居宅のアセスメントの良さなども取り入れながら、間口の広い見方を心がけている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったケアの実践に心がけ、改善点・追加点・削除点などを見出し、新ケアプランへ反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者それぞれの状況に合わせて必要と思われるサービスをピックアップして、ご本人・ご家族に対して柔軟な支援をするように心がけている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事参加などを介して地域に根付いてきている また、包括と連携をとり、ボランティアさんを紹介してもらったり、ケアマネさんの見学会を実施したりしている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回のホームDrによる定期受診を行っている また必要に応じて専門医への受診支援も行っている	医療に関するノウハウを活用し、橋本クリニックから理事長が訪問診療を担当し、24時間対応体制を整備し、医療連携体制を実施し、往診はドクターは月4回、看護師は月4回の訪問があり、必要に応じて専門医への受診支援も行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回のNs訪問となっていて、Drとの連携体制もとれている また24時間体制でとなっており、いつでも連絡可能となっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院へ訪問したり、Dr・Ns・SWなどと連携を取り、病状把握に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前よりターミナルケアについての説明を行い、延命処置などの方向性確認も行うようにしている また、状態が重度化した場合にはご本人・ご家族・Dr・Ns・職員間で連携を取り、最善の治療への取り組みを行っている	利用者のターミナルケアについては、ご家族が希望されれば対応出来る体制を整えている。入居時に、ターミナルケアについての説明を行い、延命処置などの方向性の確認も行うようにしている。状態が重度化した場合には本人・ご家族・医師・看護師・職員間で方向性を決め、連携を取り、最善の治療への取り組みを行っている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し、対処できるようにしているとともに、それぞれの場合において緊急連絡を行い、医療との連携のもと最小限となるように努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練計画書を作成して、定期的に行っている また、運営推進会議などにおいても災害時についての話し合いを行い、協力を求め、また協力できるようにしていく 今後は、市や消防からのご指摘となっている夜間想定訓練も行っていく予定でいる	防火訓練計画書を作成して、定期的に行っている。 また、運営推進会議などにおいても災害時についての話し合いを行い、相互協力体制ができるように努めている。今後は、市や消防からのご指摘となっている夜間想定訓練も行っていく予定でいる。災害時持出し用ファイルの整備も手がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誇りやプライバシーを傷つけることのないように、言葉遣いには気をつけ、尊敬の意をもって接するようにしている また、言葉かけにはあまり他人行儀にならないようにしながら、馴れ馴れしくならないように気をつけている	利用者の誇りやプライバシーを傷つけることのないよう言葉遣いには気をつけ、尊敬の意をもって接するように努めている。また、言葉かけは、他人行儀でもなく馴れ馴れしくもならないよう気をつけている。誇りやプライバシーに関する見極め・基準が大切であると考えている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話を傾聴し、希望などを把握した上で、叶えられるものとそうでないものを見極め、ご本人が納得できるような説明をし働きかけを行っている	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれのライフスタイルに応じた支援を行い、職員本位とならぬよう気をつけている また、希望に添えない時はその理由を明確にして納得していただけるように働きかけている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の整容の促し・援助を行っている 理美容は訪問理美容の利用やご家族対応などで行っている 理美容に関しては定期的に訪問していただいている また、衣類の関してはご家族対応であったり、スタッフ対応にてご本人と一緒に購入を行ったりしている			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好に沿いつつ、できる範囲で食事の準備や後片づけなどを行ってもらっている また、外食・出前（それぞれのメニュー選び）の楽しみも取り入れるようにしている	一人ひとりの嗜好に沿った食事提供と、本人ができる範囲で食事の準備や後片づけなどを行っている。また、外食・出前（それぞれがメニュー選ぶ）の楽しみも取り入れ食への工夫をしている。職員は料理が得意であり、おやつやお誕生日会のケーキなどは利用者也交えて手作りしている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量については把握し記録に残している 水分補給は脱水にならぬように気をつけ、水分不足と思われるときは吸水量よい物による補給にて対応し、それでもダメなときはNsへ連絡するようにしている また、栄養バランスについては配達業者が行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・食後に歯磨きの声かけ・誘導を行っている また、毎週歯科医・歯科衛生士の訪問があり、居宅療養管理指導も行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて状態把握をし、失敗による不快感のないようトイレ誘導に努めている また、安易にオムツ・パッド使用による感覚喪失にならないように努めている	一人ひとりの排泄チェック表にて状態把握をし、失敗による不快感がないよう、トイレ誘導を心がけている。また、尿意、便意を大切に、安易にオムツ・パッド使用による感覚喪失にならないように努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量・食事量のチェックを行い、適度な運動を摂り入れ、便秘予防に心がけている 毎日ヨーグルト・ヤクルトにより、腸内環境を整えるようにも努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日・時間の指定をすることなく、1人ひとりの希望に合わせての入浴としている 時としては、夕方の入浴となることもある	入浴は、曜日・時間の指定をすることなく、一人ひとりの希望に合わせて支援している。 時として、夕方の入浴となることもあるが、職員が居る時は適宜応じてあげられるよう心がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりのライフスタイルを把握した上で、昼夜逆転にならぬよう休息・安眠の支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方薬表を事務所で管理して、いつでも確認できるようにしている また、2回/月に薬剤師による居宅療養管理指導を受け、薬に関してわからないこと・注意することなどの把握に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの生活歴を充分把握した上で、ケアプランに組み入れ、レクリエーション・散歩・外出など張りのある生活ができるように支援している 今後は個人個人の楽しみごとが増えるようにボランティアさん導入も考えている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	できる限り散歩したり、買い物したりする機会を作っている また、ご家族などとともに外出・外食・買い物・通院をしていただいている	できる限り散歩したり、買い物したりする機会を作っている。また、ご家族などと共に外出・外食・買い物・通院などをして頂いている。今後、近い方の地域ケアプラザの行事などへも参加して行きたい。車で買い物や遠出なども行っている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはホーム管理となっている 自己管理可能な利用者に対してはお小遣い制とし、なくなったら補充する形をとり、散歩・外出時など自由に買い物できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて電話使用ができ、取次ぎも行っている また、手紙なども自由にやりとりできるようにし、ポストまでの外出支援も行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に季節感を感じるような空間作りを心がけ、温かみのある家庭的な雰囲気になっている 日中はほとんどの利用者がリビングで過ごしている	常に季節感を感じるような空間作りを心がけ、温かみのある家庭的な雰囲気になっている。日中はほとんどの利用者がリビングで過ごしている。リビングは利用者の作品（前回は朝顔、次回は紅葉など）、写真、季節毎のインテリアを行い、和める空間となるよう心がけている。介護予防の転倒予防体操などは一緒にやるようにしている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室にてひとりで過ごすこともでき、またリビングのソファにてテレビ鑑賞することもできるよう、それぞれが思い思いに過ごせるようになっている また、テラスへ椅子を用意し、数人の利用者が午後のひと時を過ごす場面もある		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたもの・アルバムなどを居室内に持ち込む事により、ご本人が当ホームにて安心して暮らしていけるように配慮している	本人とご家族で、自宅で使い慣れたもの・アルバムなどを居室内に持ち込み、本人が自分の部屋として安心して暮らしていける居場所作っている。ホームは利用者が安心して暮せるように配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーとなっており、3か所のトイレの内2か所が車いす利用可能となっているし、要所要所に手すりの設置となっていて、安全性を重視した環境となっている また、自立支援を促し、できる事・わかる事を把握した上でさりげなくサポートしている		

事業所名	グループホームふあいと天神橋
ユニット名	あおぞら

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事務所内に掲示し、出勤時に目にするにより、絶えず意識して、実践につなげている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と地域のがながりが持てるようボランティア招請によるお楽しみ会等への地域住民への参加要請を常々行っている。 入居者との散歩時などに積極的に挨拶し会話するように心がけている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常的に地域の人々に関する事により、グループホームであることを活かし、地域の人々に、認知症の人々の理解や支援方法を広める努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の代表者の意見を積極的に取り入れ、地域での利用者へのサービス向上に活かしている。また施設内の事故などもオープンに報告し助言を得る事により、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市区担当者にご利用者の状況、事業所の実状、ケアサービスの取組みを伝え、訪問を受けることにより、協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については研修への参加、施設内会議時の勉強会などをおして、周知徹底している。また、玄関の非施錠を含めて身体拘束につながるケアを排除している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の実態、禁止法の概要を研修、学習会、冊子閲覧によって知ることにより、未然に防ぐ努力をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会への参加、ホーム内での資料保管、閲覧により、理解し活用できるようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、及び解約又は改定の際に十分な説明を行い、理解を得て納得いただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者に対しては、常日頃より入居者の意見を尊重し受け入れるように心がけている 家族等に対しては、重要事項説明書などにより説明を行い、また来訪時などに収集した意見は取り入れるようにし、不満・苦情に対しては迅速な対応を心がけている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に職員の意見を聴き、調整可能な事柄については意見を反映し調整している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力、勤務状況、実績を勤務査定に反映させ、よりよい賃金水準になるよう努めている。また適正な労働時間、残業時間の抑制、計画的な有給休暇の取得及び、夏季、冬季休暇推進により職員のリフレッシュ、労働意欲の向上に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修への参加を可能な限り推進している法人研修に関しては、各職員多数の参加となり法人内一番の参加率となっている。また、資格取得のための支援も随時行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	各種外部研修、法人外交換研修を通じて、職員相互が積極的にネットワーク作りをして、サービスの質の向上に努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のご本人との面接時に不安要望を聞く事により把握し、説明により不安をできる限り解消して頂き安心して入所していただけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面接において今後についての不安、要望を聞き、説明することにより、充分話しあいながら、これからの生活について話し合い、よい関係を作るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始段階での必要とされている初期支援を見極め、その他の必要と思われるサービスの説明もするようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する事により、本人の希望、意思、意欲を汲み取り、お互いに学びあい、支えあう関係を築くように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を密にし、家族が訪問しやすい環境を整える事を心がけ、共に本人を支えていく関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊などの機会を通じて支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、職員間で共有することにより、利用者に働きかけ、利用者同士が孤立せず、関わり支えあえるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、消息を把握し、連絡、来訪を通じて必要に応じて相談、支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の暮らし方の希望を聞く事により、集団生活の中で可能な限り、本人の意向に添えるような生活環境整備に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時アセスメント、入居前面談にて確認を行い、入居後の生活に活かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録、アセスメント、生活チェック表及び、職員間の申し送りを通じて、職員間が暮らしの現状を共有して把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族の要望、意見を聴き定期的なカンファレンスを行い、関係当事者の意見を反映した現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったケアの実践とモニタリング、個人記録と日常の観察とに即した職員の意見を新しいケアプランに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できること、できないことはあるものの、状況の変化、多様なニーズの現われに対して、柔軟に対応できる様に日々の支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事参加、地域ボランティアの訪問などを介して地域に根付いた生活となってきている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回のかかりつけ医による訪問診療を行っている また必要に応じて専門医への受診の支援も行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回のNs訪問を行っている。日報及び定期訪問時に個々の利用者の情報、きずきを伝えている。 また24時間体制でNsへの連絡が可能となっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院への訪問、病院関係者との相互連絡、相談員などとの連携により、病状把握に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前説明時に、ターミナルケアについて説明している また、状態が重度化した場合にはご本人・ご家族・主治医・Ns・職員間で連携をとり対応するようにしている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し、対処できるよう常備している。また法人内外研修に派遣して応急手当や初期対応の訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練計画書を作成して、防災訓練を定期的に行っている。また地域代表者を通じて、災害時の協力体制を取れるよう関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者に対しては人格を尊重した言葉使い、対応を行っている。 また個人情報保護の法的遵守には、十分な配慮をするよう職員間で意識共有している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話を傾聴し、希望などを把握した上で、ご本人が納得できるような説明をし働きかけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り個々人のライフスタイルに応じ、職員本位とならぬよう柔軟に支援できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの衣類の選択、日々の整容の促し・援助を行っている 理美容は訪問理美容の利用やご家族対応などでやっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりができる範囲で、職員と共に、食材の準備、盛り付け、配膳、下膳、あとかたづけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量、水分摂取量を記録し、状態を把握している また、栄養バランス等については食材配達業者が行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけ・誘導を行っている また、歯科衛生士による居宅療養管理指導も行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて状態把握をし、排泄の有無、排泄パターンの把握に努めている。また、失敗による不快感のないようトイレ誘導に努めている また、重篤な場合以外は安易にオムツ使用をしないようにしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量・食事量のチェックを行い、適度な運動を摂り入れ、便秘予防に心がけている。また便秘の予防につながる食材、及び嗜好品（ヨーグルト等）を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	就寝前、等の夜間帯を除き、できる限り一人ひとりの希望に合わせて入浴できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように配慮しながら、1人ひとりのライフスタイルを尊重し状況に合わせた休息を取れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の処方薬表を事務所で管理、掲示して、必要時に確認できるようにしている また、2回/月に薬剤師による居宅療養管理指導を受けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を充分把握した上で、ケアプランに組み入れ、レクリエーション・外出などの張りのある生活ができるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、各人の可能歩行距離、身体状況に配慮し、できる限り散歩の時間を作っている、また職員との買い物、家族と外出したりできる機会を作っている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本的にはホーム管理となっている。 個人の買い物等は、職員同行、又は職員に依頼することにより行っている。金銭はおこずかい制とし、随時補充する形をとっている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて電話使用、家族からの取次ぎを行っている また、手紙なども自由にやりとりできるようにし、ポストまでの外出支援も行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じさせる共有空間を心がけている（七夕、Xマス、正月等イベント時）常時、植物、装飾物を陳列することはしていない。照明、室内温度は設定温度に従い、利用者の体調、希望を考慮して居心地良くすごしていただけるように心がけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれのペースで居室にてひとりで自由に過されたり、またリビングのソファにてテレビ鑑賞されたりできるように、ソファ、食卓の配置等、の工夫をしてそれぞれが思い思いに過せるようになっている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前より使い慣れたアルバムや家具を居室に持ち込む事により、安心して暮らしていけるように配慮し工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできることを把握した上で、自立支援を促す形で援助している。建物内部はバリアフリーになっており、車椅子対応のトイレスペース、行動導線への手すり配置により、安全に移動、移乗できるように工夫された建物の内部環境になっている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホームふあいと天神橋

作成日

平成22年9月15日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	毎日が単調な生活と なっている	それぞれの趣味などを 取り入れていく	各ご利用者様に趣味 などの聴き取りを行 い、余暇の楽しみ（手 芸・編み物・将棋etc） を見出し、実践につな げる	H22.3月まで
2	18	開所して3年経過した が、全ご利用者様対象 の外出・外食がない	全ご利用者様に対して 昼食外出を行う	3,4人のグループに分 け、各スタッフが立案 して計画・下見し、実 践する	H22.3月まで

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。